

● 地域提案型

平成18年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	マレーシア
2. 事業名	FUKUOKA 草の根 下水道技術協力
3. 事業の背景と必要性	<p>福岡市では下水道の普及率がほぼ100%に達し、40年にわたる下水道整備の実績を持って、周辺市町の下水道整備事業に人的協力をを行うとともに、「アジアに貢献する福岡」を目指して様々な国際協力事業を実施し、平成15年度から平成17年度にかけて草の根技術協力事業により、中国山東省建設庁への下水道技術の移転に取り組むとともに、平成19年度にも同じく草の根技術協力事業により、マレーシア国イポー市への技術協力を行ってきた。</p> <p>近年、アジア地域では急激な都市化の進展に伴い、工場排水や生活排水による河川や海域等の汚濁が進行するとともに、都市型水害が発生するなど下水道が果たす役割はますます増大している。福岡市の姉妹都市であるイポー市においても例外ではなく、福岡市に対して下水道整備に関する技術協力の要請がなされた。</p> <p>福岡市は、これまで培ってきた技術的ノウハウを積極的に提供し、姉妹都市であるイポー市、ひいてはマレーシアの持続可能な発展に寄与するため、よりきめ細かな技術協力を実施することで、人材育成に貢献する。</p>
4. 事業の目的	現場に即した、きめ細かな技術協力を実施し、イポー市、ひいてはマレーシア国の下水道事業を担う人材を育成し、持続可能な発展に寄与する。
5. 対象地域	マレーシア国イポー市
6. 受益者層	マレーシア国イポー市水道局職員および地域住民
7. 活動及び期待される成果	<p>イポー市で下水道事業に携わる技術者を研修員として受け入れ下水道事業に関する研修を行うとともに、本市下水道局技術職員をイポー市に派遣し、下水道技術に関する指導・助言を行い、イポー市の下水道事業を担う人材の育成を行う。</p> <p>また、研修員の受け入れと専門家派遣が交互に実施されることで、現地の多様なニーズに沿うようなきめ細かな技術協力をおこなう。</p> <p>専門家派遣の各年次の活動内容は次の通り。</p> <p>(1年次) 平成19年度の現地調査を踏まえ、下水管渠及び下水処理場に関する計画、設計、維持管理についての技術的な指導・助言を行う。</p> <p>(2年次) 2年間の技術協力を踏まえ、下水道事業全体に係わる効率的な維持管理、経営方法、及びマニュアルの活用などによる技術の維持・継承について指導・助言を行う。</p>
8. 実施期間	平成20年度～平成21年度
9. 事業の実施体制	<p>カウンターパート機関であるイポー市が、研修員選考や専門家派遣の際の現地での対応等を含む事業全般に関し、日本側実施機関と適宜協議の上実施を行う。日本側との窓口はイポー市国際交流課が担当する。</p> <p>実施団体である福岡市道路下水道局の建設部計画課技術開発係が窓口となり、連絡調整・事務手続き等を行う。イポー市側との連絡窓口は福岡市総務企画局国際部が担当する。</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名 (提案自治体)	福岡市道路下水道局 (福岡県福岡市)
2. 対象国との関係、協力実績	福岡市とイポー市は、1989年に日本とマレーシアの都市間では初めてとなる姉妹都市の締結依頼、様々な分野での交流・協力を実施しており、近年では本市職員の派遣による、廃棄物埋立技術についてのセミナー開催や改善指導などの技術協力を実施している。